

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	品質システム工学		
英文授業科目名	Quality Control System		
開講年度	2005年度	開講年次	3年次
開講学期	5学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	椿 美智子、鈴木 和幸		
居室	西5-705(椿)、西5-605(鈴木)		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
日本独自の発展を為し、世界各国に広がった日本的品質管理の理念、基本的考え方、品質管理手法を後述する。

【前もって履修しておくべき科目】
確率統計学第一

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
(確率統計学第二)

【教科書等】
教科書：真壁 肇、鈴木 和幸、益田 昭彦共著 「品質保証のための信頼性入門」(日科技連出版社) これは「品質システム工学」の授業の後半(鈴木和幸担当)、および3年後学期開講の「信頼性・安全性工学」の指定教科書である。 その他：適宜自作プリントを配布

【授業内容とその進め方】

1. 日本的品質管理
 - (a)品質管理の歴史と意義
 - (b)品質管理の基本的考え方 品質とは、管理とは、SQC、人間性尊重
 - (c)日常管理と方針管理
 - (d)品質保証と品質管理
2. 品質保証の新時代
 - (a)CS（顧客満足度）と品質保証
 - (b)コンカレント・エンジニアリングと品質管理
 - (c)品質に関する国際規格：ISO9000
 - (d)PL（製造物責任）と品質保証
 - (e)地球環境保全への品質管理
3. 品質管理手法
 - (a)実験計画法???
 - (b)工程データ解析???

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

単位など気にせず、この重要な学問を是非修得して下さい。
ただし、単位は2 / 3以上の出席とレポート・期末テストに基づきます。

【オフィスアワー：授業相談】

授業後に相談してください。内容によって判断します。

【学生へのメッセージ】

授業中に、出来る限り実例と演習を取り入れ、品質管理の重要性と基本事項を体得してもらいます。どの分野に進む人も、出来る限り受講して下さい。

【その他】